



## 適用病害と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テトラニプロールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コナガ アオムシ ネキリムシ類 ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ アブラムシ類 ネギアザミウマ	200倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー ポット1冊(約30× 60cm、使用土壌約 1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半~ 定植当日	1回	灌注	4回以内(灌注 は1回以内、散 布は3回以内)
	コナガ アオムシ ウバ類 ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ オオタバコガ アブラムシ類 アザミウマ類	2500~ 5000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
はくさい	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ アブラムシ類 ネキリムシ類	200倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー ポット1冊(約30× 60cm、使用土壌約 1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半~ 定植当日	1回	灌注	
	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ オオタバコガ アブラムシ類	2500~ 5000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
ブロッコリー	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ アブラムシ類 ネキリムシ類	200倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー ポット1冊(約30× 60cm、使用土壌約 1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半~ 定植当日	1回	灌注	
	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ウバ類 アブラムシ類	2500~ 5000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
	アザミウマ類	2500倍					
非結球あぶら な科葉菜類	コナガ	5000倍			2回以内	2回以内	
いちご	ハスモンヨトウ オオタバコガ	2500~ 5000倍					
ねぎ	ネギアザミウマ ハモグリバエ類	200倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー ポット1冊(約30× 60cm、使用土壌約 1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半~ 定植当日	1回	灌注	4回以内(灌注 は1回以内、散 布は3回以内)
	シロイチモジヨトウ ネギコガ ハモグリバエ類 アザミウマ類	2500~ 5000倍	100~300ℓ/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	
	クロバネキノコバエ類	2500倍					





## 適用病害と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テラニプロールを含む農薬の総使用回数
レタス 非結球レタス	ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類 アブラムシ類	200倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー ポット1冊(約30× 60cm、使用土壌約 1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半~ 定植当日	1回	灌注	4回以内(灌注 は1回以内、散 布は3回以内)
	ウワバ類 ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類	2500~ 5000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
	アブラムシ類	2500倍					
えだまめ	マメシクイガ ウコンノメイガ ハスモンヨトウ	5000倍					収穫7日前まで
だいず	ハスモンヨトウ		収穫前日まで	3回以内	2回以内		
さといも	ハスモンヨトウ						
未成熟とうもろこし	オオタバコガ アウノメイガ			収穫前日まで	3回以内	3回以内	
なす	ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類 アブラムシ類 コナジラミ類	200倍	25mℓ/株	育苗期後半~ 定植当日	1回	灌注	4回以内(灌注 は1回以内、散 布は3回以内)
	ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類 アブラムシ類	2500~ 5000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
トマト ミニトマト	ハモグリバエ類 アブラムシ類 コナジラミ類	200倍	25mℓ/株	育苗期後半~ 定植当日	1回	灌注	4回以内(灌注 は1回以内、散 布は3回以内)
	ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類 アブラムシ類	2500~ 5000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
	コナジラミ類	2500倍					
ピーマン	アブラムシ類 コナジラミ類	200倍	25mℓ/株	育苗期後半~ 定植当日	1回	灌注	4回以内(灌注 は1回以内、散 布は3回以内)
	オオタバコガ アブラムシ類 コナジラミ類	2500~ 5000倍 2500倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
	ハモグリバエ類 アブラムシ類 コナジラミ類	200倍	25mℓ/株	育苗期後半~ 定植当日	1回	灌注	
きゅうり	ハスモンヨトウ ウリノメイガ ハモグリバエ類 アブラムシ類	2500~ 5000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内(灌注 は1回以内、散 布は3回以内)
	コナジラミ類 アザミウマ類	2500倍					
	ハモグリバエ類 アブラムシ類 コナジラミ類	200倍					
メロン	ウリノメイガ ハモグリバエ類 アブラムシ類	2500~ 5000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内(灌注 は1回以内、散 布は2回以内)
	アザミウマ類 コナジラミ類	2500倍					
	ハモグリバエ類 アブラムシ類 コナジラミ類	200倍					





## 適用病害と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テトラニプロールを含む農薬の総使用回数
すいか	アブラムシ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類	200倍	25mℓ/株	育苗期後半～ 定植当日	1回	灌注	3回以内(灌注は1回以内、散布は2回以内)
	ハスモンヨトウ オオタバコガ ウリノメイガ ハモグリバエ類 アブラムシ類	2500～ 5000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
	コナジラミ類 アザミウマ類	2500倍					
なし	ヒメボクトウ ハマキムシ類 シンクイムシ類	5000～ 10000倍	200～700ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
もも	シンクイムシ類 ハマキムシ類 モモハモグリガ						
ぶどう	ハマキムシ類 モンキクロノメイガ チャノキイロアザミウマ コガネムシ類						
かき	カキノヘタムシガ	5000倍	200～700ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
りんご	ハマキムシ類 シンクイムシ類 ギンモンハモグリガ キンモンホソガ ヒメボクトウ オオタバコガ ヨモギエダシヤク						
小粒核果類 (すももを除く)	ケムシ類	5000倍	200～700ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
すもも	ケムシ類 シンクイムシ類						
おうとう	ハマキムシ類 ケムシ類 コガネムシ類 オウトウショウジョウバエ						
茶	チャノミドリヒメヨコバイ マダラカサハラハムシ	2500倍	200～400ℓ/10a	摘採7日前まで	1回	1回	1回
	チャノコカクモンハマキ チャハマキ チャノホソガ ヨモギエダシヤク チャノキイロアザミウマ	2500～ 5000倍					
花き類・ 観葉植物	ハスモンヨトウ オオタバコガ	2500～ 5000倍	100～300ℓ/10a	発生初期	3回以内	3回以内	3回以内
樹木類	ケムシ類	5000倍	200～700ℓ/10a				





## ⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用する。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布する。
- 使用量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節する。
- 過度の連用をさげ、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用とする。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
  - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
  - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさげる。
  - ③関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理する。洗浄水はタンクに入れる。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## ⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意する。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。

治療法…該当なし

魚毒性等…使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

保管…密栓し、直射日光をさげ、食品と区別して、冷涼な所。

- PRTR法
- 火災時は適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努める。
  - 漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収する。
  - 移送取扱いは、ていねいに行う。
  - 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理する。洗浄水はタンクに入れる。

